

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 時相調整による腸上皮細胞の運命転換機構の解明と応用
2. 研究代表者： 油井 史郎（東京医科歯科大学 統合研究機構 再生医療研究センター 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、遺伝子操作によらない類縁起源の臓器間の細胞特性を互換する技術の開発を目指す「バックスイッチ構想」と、がん研究を刷新する「Refinement of Cancer Study 構想」から、再生医学研究と癌研究の融合による新しい学問領域創出を目指す。フェーズ 1 では再生医学研究とがん研究の融合による新しい研究領域を目指した研究を活発に進め、着実な成果を積み上げており、評価できる。フェーズ 2 では、多角的な検討から、より独自性を出して、破壊的イノベーションに繋がる成果を上げることが期待される。研究代表者の研究推進能力の高さから、臨床応用に向けた研究成果に繋がる可能性に期待する。

以上